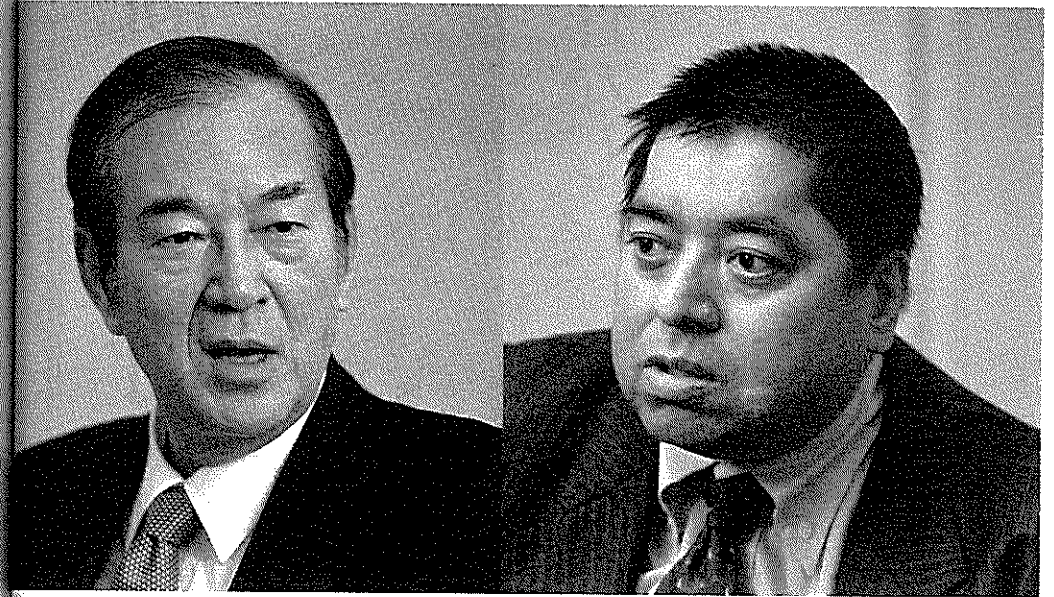


日本は譲歩した！ 知られざる日露首脳会談の真相

北方領土は かえってくるか



明治大学特任教授

山内昌之

やまうちまさゆき

1947年北海道生まれ。東京大学学術博士。カイロ大学客員助教授、ハーバード大学客員研究員、東京大学教授などを経て東大名誉教授。紫綬褒章、司馬遼太郎賞などを受ける。『現代のイスラム』『スルタンガリエフの夢』（サントリー学芸賞）、『瀕死のリヴァイアサン』（毎日出版文化賞）、『ラディカル・ヒストリー』（吉野作造賞）、『中東国際関係史研究』など著書多数。

作家・元外務省主任分析官

佐藤 優

さとうまさる

1960年東京都生まれ。英国の陸軍語学学校でロシア語を学び、在ロシア日本大使館に勤務。2002年、背任と偽計業務妨害容疑で逮捕、起訴され、09年6月、執行猶予付き有罪確定。13年6月、執行猶予期間を満了し刑の言い渡し効力を失う。『国家の震』『自壊する帝国』『新・帝国主義の時代』（右巻、左巻）、『修羅場の極意』『ケンカの流儀』『新・地政学』（山内氏との共著）など著書多数。

恐るべき北朝鮮の土木技術

山内 今日では現在話題になっている北朝鮮危機やトランプ現象などについて、語り合いたいと思います。

まず、北朝鮮。三六年ぶりに朝鮮労働党大会が開かれましたね。前任者たちとの関係でどう見ますか。

佐藤 前回の第六回党大会（一九八〇年）は、金日成が全社会の主体（チュチェ）化を唱え、金正日を常任幹部会委員に就任させて世襲制でいくことを宣言、従来のマルクス・レーニン主義と決別した大会でした。

次の金正日時代は「先軍政治」、軍部主導の政治でしたが、建前では金日成の「御遺訓」に従うことになっていました。面白いのは金正日時代を通じて「御遺訓」が増えていることです。金日成の生前全八巻だった『金日成著作集』が四四巻、『金

日成全集』が一〇〇巻にまでなった。新しい政策を行うたびに、それにあった金日成の「御遺訓」が見つかるということが繰り返されたのです。

山内 捏造と言っているのでしょうか？

佐藤 もちろん、捏造です（笑）。そして今の金正恩が三代目として権力を継承してほだなく『金日成著作集』が全一〇〇巻で完結したと発表され、金正恩の著作が刊行されました。このなかで金正恩は「わが国、わが党は今後、金日成・金正日主義で行く」と宣言しています。

山内 スターリンがマルクス・レーニン主義を唱えたのに似ていますね。佐藤 マルクス・レーニン主義は、スターリンがマルクスとレーニンという偉大なる先達のイデオロギーを継承しているように見せて、全く新しいイデオロギー、即ちスターリン

主義で国家を統治したわけですが、それと同じです。いわば金正恩が「脱・金日成、脱・金正日」を果たしたということでしょう。

山内 それで、三六年ぶりの党大会を開いたわけですね。

最近、「北朝鮮がIS（イスラム国）と接近しているらしい。具体的に今年一月、北朝鮮からISに、中東の支配地域で武器援助や軍事訓練をする代わりに韓国でISがテロをするようにスワップの申し込みがあった」という情報がある。詳細はこれから判明するでしょうが、恐ろしい情報ではあります。韓国の現政権は北朝鮮に強硬策を採っており、米韓軍事演習も盛んに行われている。後ろ盾の中国も、北朝鮮への敵意を隠そうとしないし、無視しようとしている。若き独裁者の金正恩には、祖父や父の、ある種の現実感

覚を継承しながら国際社会を利用することで孤立から脱しようという発想はありません。同じく孤立し、自爆攻撃もやっている擬似国家ISに關心を持った、ということのようです。

佐藤 興味深いインテリジェンス情報ですね。可能性はあります。北朝鮮は海外のテロリストグループとのネットワークを作った実績があります。金日成末期、世界各国の共産主義者グループの代表を平壤に集めて「世界革命をやる」と宣言しています。共産主義者グループといっても、〇〇国労働党△△派みたいな、教人レベルの少数派にすぎませんが。

山内 サークル活動じみた少数派より、ISと手を組むほうが、国際的騒擾へのインパクトは大きいでしょうね。

佐藤 ISから見て、北朝鮮からの宣伝することができて、ISにとっても悪い話ではないのです。佐藤 警戒が必要です。

ロシアから見ればトルコとアメリカが元凶

山内 テロ対策と関連する話ですが、四月二十七〜二十八日、モスクワで第五回国際安全保障会議(MCIS ILC)が開かれ、私も参加しました。佐藤 いかがでしたか。山内 面白かった。ロシアと中国を中心に、イラン、シリア(アサド政権)など一七カ国の国防大臣の他、

支援でもっとも魅力的なのは土木技術だと思えます。具体的には地下都市。テロ集団にとって怖いのは、衛星やドローンなど上空から襲ってくる兵器だから地下に潜りたがる。北朝鮮は、シリアやリビア、ミャンマー等が造った地下都市にも関わっている。通常兵器では破壊できない深さに地下都市を造る技術がある。北朝鮮が核開発を進められたのも、地下施設が整っているから。軍事衛星でも発見できない。

山内 イランの核開発も地下で行われていて、ここにも北朝鮮が絡んでいます。イランは聖地コムにも地下核施設を造りました。

佐藤 伊勢神宮の横に、軍需工場を造るようなものです。ミサイルなんかを撃ち込んだら、宗教戦争になる。山内 その通り。イランはそのあたり、実に狡知にたけているんですね。

八〇カ国の代表や国連関係者が出席していた。G7、EU、NATOといった枠組みの外にある国々が、伊勢志摩サミットの議題でもある「テロ対策」や「ウクライナ問題」等について話し合ったのですが、痛感したのは、参加国が変わり、見るアングルが違っていると、同じテーマでも違う話になるのかということ。初日の午前中、ロシアのシヨイグ国防大臣、ラブロフ外務大臣、FSB(ロシア連邦保安庁)長官のポルトニコフ上級大將が挨拶したのですが、彼らが言うには「現在における

北朝鮮はイランの核開発に深く関与し、一定の成功を収めました。同様に、北朝鮮がISと手を組んでテロを行うという可能性もありますね。北朝鮮の支援の下、軍事訓練を受けたIS工作員が、観光客を装って韓国内に入国し、テロを起こすといった塩梅です。

佐藤 ありえると思います。テロを起さぬまでも、高等教育を受けている人口は多いけれど、格差が広がっていてマルクス主義の影響を受けやすい韓国社会は、ISが浸透しやすいと思います。

山内 日本の警察庁や公安調査庁はすでに關心を持っていると思います。北朝鮮の意を受けた工作員が、日本国内でISと提携したテロかISの名を使ったテロを起こす可能性も否定できません。日本でのテロに成功すれば、ISの影響力の広がり

テロとの戦いで重要なことは、アメリカとその同盟国とが世界情勢を不安に陥れ、平和を損なっていることだ」と。アメリカやNATO諸国の動きを牽制するメッセージを出すのがこの会議の目的だ、というわけ。特に、アメリカの手先となっているとしてトルコへの批判が凄まじかった。

ロシア側が描いているテロ戦争の構図は、こうなります。シリアをはじめテロが跳梁跋扈する地域で、背後からテロリストを支援しているのはトルコとサウジアラビア。さらに

新刊案内

BEPS Q&A

新しい国際課税の潮流と企業に求められる対応



21世紀政策研究所 経団連経済基盤本部 編著
定価(本体1800円+税)
A5判 280頁

— おもな内容 —

- ◆ BEPS問題入門
国際課税とは
BEPSの実態
BEPSへの対応
BEPS最終報告書
- ◆ 企業へのインパクト
国内法改正関係
租税条約関係
- ◆ 座談会
【新しい国際課税の潮流と企業に求められる対応】

企業経営を学ぶ



平居暉士 著
定価(本体1600円+税)
A5判 184頁

企業業績不振などの原因が、経営者の知識不足や経験不足、未習熟な経営実践力にある例が少なくありません。本書は経営者がなくべき経営戦略、事業計画、画の策定と実践を、実際の手順に沿ってまとめることにも、経営力を高める具体策を詳述しました。

経団連出版

http://www.keidanren-jigyoservice.or.jp
TEL 03-6741-0043

その背後で糸を引いているのがアメリカやNATO諸国。

佐藤 われわれからすれば陰謀論というしかないですが、ロシア人の視点から個々の現象を繋ぐと、そういう物語ができあがるのでしょ。

ウクライナ問題が起こった時、トルコは西側とは足並みを揃えず、経済制裁には加わりませんでした。それでロシアではトルコ株が一気にあがった。ところが昨年十一月、トルコとシリアの国境でロシア軍爆撃機が撃墜される事件が起こる。ロシア軍機を撃墜したのはトルコ軍ですが、パラシュートで降りてきたパイロットを殺したのは、シリア国内のトルコ系トルクメン人反体制武装勢力でした。それでもトルコの外務大臣はセルビアまで出かけて行ってロシア側と会談する羽目になりました。セルビアはかつてのオスマン帝国の領

土であり、ロシアの力で独立した経緯がある。ロシアに有利な場所では議論することにトルコは応じざるをえなかった。

山内 いわば敵地ですね。汎スラブ主義の伝統的な前哨地点ですからね。佐藤 はい。そこまでして、ロシアはトルコに「敵国」のイメージをま

とわせようとしている。現在のトルコ一国であれば、戦争になったとしても十分勝てるという計算もある(笑)。冷戦時のNATO諸国と対決するほどの大変な事態ではないと。

山内 ロシアとトルコが友好関係にあった時期は、ロシア革命の後、トルコとの間にモスクワ条約を結んだ一九二一年前後です。中東から東欧にまたがる大帝國だったオスマン帝國が第一次世界大戦で衰亡し、一九二〇年にケマル・アタテュルクやキヤーズィム・カラベキルら国民党に

よるトルコ大国民議会ができた。その時のトルコは、ロシア革命直後で

西欧帝國主義と戦っていたソビエト連邦に接近し、友好関係を結びました。この時ソビエトは、カルス地方などの東部領土をトルコ側に割譲しています。

佐藤 ナゴルノ・カラバフがアゼルバイジャンに編入されたのもこの時です。現在、ナゴルノ・カラバフ自治州をめぐるアゼルバイジャンとアルメニアの地域紛争で、それぞれトルコとロシアが後ろ盾になって対立しています。

山内 十九世紀のロシアは、黒海、地中海、バルカン半島、クリミア半島といった広域世界を舞台にトルコと戦ってきました。自分が弱かった時代に手放さざるをえなかった地域に対するロシアの執念は凄まじいものがあります。ソ連が第二次世界大

戦の戦勝国となった一九四五年、当時のモロトフ外相が、トルコにカルス地方の返還要求を突きつけました。これを警戒したトルコは、NATOに加盟します。

佐藤 スターリンは、地政学的状況をよく理解していましたから、ソ連が弱体化している間は我慢していた。いわゆる東側世界を掌中に収めるようになると、我慢はやめて本音をむき出しにしたわけですね。

北方領土のゆくえ

佐藤 そこで連想するのは、現在の日本とロシアとの領土問題です。五月に安倍総理がロシアを訪問し、ソチでプーチン大統領と会談しました。この時、安倍総理は北方領土について、双方に受け入れ可能な解決策の作成に向け、新たな発想に基づくアプローチで交渉を精力的に進めてい

くことで一致したと述べています。

一九五六年十月、日本政府は日ソ共同宣言に調印した。その宣言には、平和条約締結後に「歯舞」「色丹」の二島を日本に引き渡すことがソ連の義務であると明言されています。

一九九三年にエリツィン大統領が訪日して合意した「東京宣言」は、さらに推し進めて「北方四島(択捉、国後、色丹、歯舞群島)の帰属問題を解決して平和条約を締結する」と謳った。今回、安倍総理はそれには触れることなく、「新たな発想に基づくアプローチ」で交渉すると宣言した。これは脱「東京宣言」だとい

うのが私の解釈です。
山内 かなり思い切った独特な外交アプローチになるわけですね。二十一世紀の日露関係に向けた、安倍首相による現実外交の再構築への抱負でもあるのでしょうか。

佐藤 プーチン大統領は、エリツィン政権下のロシアを「混乱の九〇年代」と捉えているので、その時期に外国と交わした政治的合意は絶対に認められない。日本に譲歩しすぎた「東京宣言」から一九五六年の共同宣言に立ち戻り、今年秋のプーチン訪日に際して新たな合意を作ろうというのが日ロのシナリオだと思います。

山内 ソ連は一九二二年のモスクワ条約でトルコに譲歩しすぎたが、あれはまさしく革命後の混乱期だった。だから一九四五年になって返還要求を突きつけたのと同義異曲です。一九九〇年代ソ連崩壊直後の混乱期と同じだというわけでしょう。このあたりの比較をきちんと整理するのは、私の関心でもあるのです。

佐藤 今の日本のロシアウォッチャーもかつてに比べて相当力が落ちて

新産業創造に資するベンチャー企業の成長に向けて

座談会

積水化学工業会長 東京大学教授 ユークレナ社長 株式会社KDDI代表取締役執行役員専務

根岸 修史 名務 茂夫 出雲 充 秋池 玲子 高橋 誠

寄稿

総合科学技術・イノベーション会議常務議員 産業革新機構社長 グロービス経営大学院学長

原山 優子 勝又 幹英 堀 義人

編集発行 日本経済団体連合会 最寄りの書店 またはインターネットから http://www.keidanren-jigyoservice.or.jp

いて、誰もそこに気づきません。

「東京宣言」を撤回すると明言してしまおうと、いわゆる安倍応援団の中の右寄りの反撥を招きかねない。だから、菅官房長官は「日本政府の立場はあくまで四島の帰属問題解決」と発言した。でもそれは、日ロ両国の「合意」ではなく「日本側の一方的な主張」という撤退した形にして構わないと可視化したということです。

そういう意味では、今後の領土交渉において、どういうワーディングが使われるか注目です。日本側はこれまで「返還」を要求してきましたが、これが「引き渡し」に変われば、大きな変化が起こった事を意味する。ロシアとしては「二島を贈与」する

という形をとりたい。北方四島や南樺太は、ヤルタ協定をはじめ第二次世界大戦の戦後処理において、ロシアが合法的に手にした地域であり、

なにびつくりするような現象ではないんじゃないですか。アメリカ史から見れば、「ラインホルド・ニーバー(一八九二〜一九七二)の時代が終わる」ということだ、と私は捉えています。ニーバーは一九三〇〜五〇年代、アメリカが孤立主義を捨てて第二次世界大戦に参加し、国際舞台に積極的に関与するようになった時期に、共和党・民主党双方に多大な影響力があった神学者です。山内 それ以前は、直接脅威にさらされる場合以外はアメリカ第一主義で、外の世界には無関心というのが、

それは国連憲章で担保されているというのがロシアの一貫した立場。一九五六年の日ソ共同宣言は「日本が友好を求めてきたから、見返りに二島を贈与する」ということです。

山内 昨年、プーチンはイランを訪れた時、最高指導者のハメネイ師に『コーラン』を贈っています。三世紀前の貴重な写本の一部ですが、一方でロウハニ大統領には十九世紀戦利品として獲得したイランの遺跡タイルの破片の一部をプレゼントした。ただし「返還する」とは言っていません。奪ったものを返したのではない、と。(笑)

佐藤 外交とは「合意」によって成り立ちます。その「合意」について先方が「事情変更の法理」——合意が結ばれた時と大きく事情が変わった場合には、「合意」を修正あるいは破棄できるという国際法上の原則

伝統的な発想でした。

佐藤 ニーバーは一九四四年に『光の子と闇の子(The Children of Light and the Children of Darkness)』を著し、「光の子」であるアメリカは孤立主義を脱し、「闇の子」であるナチズムやファシズムと戦い、普遍的な価値観であるデモクラシーを広めるべきだと唱えた。その後のアメリカは彼の主張に沿って行動してきました。そのアメリカをパールハーバー以前の孤立主義に戻そうとしているのがトランプではないかと思えます。

を言い始めた時、そこでものを言うのは彼我の力関係。北方領土をめぐる交渉の経緯をよく見ていけば、日ロの力関係も明確になるはずですよ。

トランプ現象 恐れるに足らず

山内 アメリカの何といっても大きな話題は、共和党のドナルド・トランプです。日本では「あんな粗野な男が大統領候補になるはずがない。いずれ消えるだろう」と言われてきましたが、あれよあれよと勝ち進んでいる。トランプ大統領が誕生する可能性も現実味を帯びてきています。

「在日米軍の駐留費は全額日本が負担せよ。さもなければ撤退する。日本は核武装するなり勝手に防衛力を強化せよ」といった彼の発言の真意をめぐってかまびすしく日本では取り沙汰されています。佐藤 あえて申し上げますが、そんな

山内 第二次世界大戦後のアメリカは、死活的な利益ではないと、トランプが思うところのドイツや日本や韓国を守るため数兆ドルもつぎ込んできたが、結局アメリカの利益にはならなかった、と言いたいのではないでしょうか。彼が同盟国に要求しているのは、米軍基地維持費用を一部負担せよ、というレベルではなく、「アメリカに守ってほしければ、アメリカの国防予算の一部を肩代わりしろ」という事です。しかし外国に国防予算を負担させる事は、それらの国々がアメリカの海外戦略に口を

出す事態になりかねない。もつと言えは金をもらって傭兵になるのと同じです。アメリカ軍部がどう思うか。佐藤 そうとう反発するでしょうね。山内 ドイツや日本や韓国の納税者も、アメリカの国防予算に自分たちの税金を差し出すことをすんなり納得するとは思えない。最悪、これまでの同盟関係の解消といった事態もありえます。そして懸念されるのは、トランプが同盟関係解消後の世界で、アメリカがうまくやっていけると思っているのかということ。佐藤 そのあたりは楽観的に考えてるんじゃないでしょうか。トランプの考えを知る上で重要なのは、彼は有能な不動産業者だということ。鍵になる言葉は「取り引き (deal)」ではないか、と。

山内 従来の同盟国との関係を軽視する発言を繰り返す一方で、中国や関しても「航行の自由作戦」とか七面倒くさいことをやるより、為替ダンピングでいじめた方が簡単だと思いつくかもしれない。これも実行されれば世界経済は大混乱です。山内 為替ダンピングはともかく、彼の金融政策についてはあまり語られていませんね。佐藤 彼のような土建屋や不動産業者は、基本的に株屋や銀行マンが嫌いです。「額に汗して働かず、得体の知れない金融操作をやってあぶく銭で儲けている」連中の巢窟たるウォールストリートは敵同然。

ロシアについて言及が少ないか、楽観的なのは、それらの国との関係も「うまく取り引きすればいい」と思っているからでしょう。しかしトランプが、プーチンや習近平のような熾烈な権力闘争と駆け引きを勝ち抜いた政治家と正面から太刀打ちできるでしょうか。

オバマ政権がイランと和解したことで、アメリカはサウジアラビアとの同盟信頼関係を失い、アラブの君主制国家を動揺させました。ロシアや中国と下手な取り引きをしたら、ドイツ、日本、韓国など同盟国を失いかねない。これがトランプには見えていない。アメリカが「ISとの対決で手を組んでくれれば、ウクライナや東欧におけるロシアの勢力圏を認めてやる」「中国が、アメリカに対する巨大な貿易黒字を解消してくれるなら、南シナ海における自由

その意味でトランプ現象は、ハーバード大学出身者に代表されるエリート支配への反発から起こったものです。今、ハーバードのロースクールに通うためには年間七万ドルかかる。ごく一部の富裕層の子供だけがハーバードに通い、卒業後は一流企業に入っていく暮らしをする一方、一般大学卒業者は犬の散歩のアルバイトをするくらいしかない。今のアメリカは、そのくらい希望のない社会です。現在の東部エスタブリッシュメントが、アメリカンドリームを潰した元凶と見なされても仕方ない

行動を認める」という態度をとった時、日韓やドイツがどう出るか。国際政治は大混乱になります。

佐藤 こういうシナリオも考えられます。アメリカでは金融資本が肥大化しすぎ、格差は広がる一方です。トランプは格差解消のため為替ダンピングを行ってアメリカ国内でインフレを昇進し、さらに保護主義政策をとって国内製造業を支援し、アメリカ国内の景気をよくする。為替ダンピングの相手は、巨額の対米黒字を抱えている中国の人民元。

なんといってもドルは基軸通貨です。ヒラリーすら、黒田日銀総裁がやっている金融政策について「同盟国に対して人為的な為替操作をやるのはいかなものか」と非難している。「日本ごときが世界最強国相手に為替ダンピングできると思うなよ」ということです。だから中国に

部分はある。

山内 森本あんりさんの『反知性主義』という著書に、米第七代大統領アンドリュー・ジャクソンのエピソードが紹介されています。彼は貧しい家庭に生まれた無教養な軍人上がりで先住民虐殺もためらわなかった。でも独立戦争や米英戦争の英雄で大衆の人気があり、一八二八年の大統領選挙では、ハーバード卒の名門出身外交官ジョン・クインシー・アダムズに勝利した。そのジャクソンがハーバードから名誉学位を受けることになった。授与式は全部ラテン語

今月の一冊



伊呂波加留多
佐々木満里子 著
定価 本体1200円(税別)

『平成伊呂波加留多道子』

●建設業の経営者として苦難の道歩んできた著者が、人生体口と知性は異なる……の一喉元。●「論より打算」……ちりやかに現代を生き抜く処世術。

詳細見聞の無料作成

案内書は電話 FAX ハガキ メールで請求下さい。

自費出版相談会
毎日ご相談をお受けしています
日時 平日午前10時～午後5時
土曜日本ご希望の時間帯で
場所 神保町・IVYビル5F
お申込は電話・FAX・メールにて
前日までにご予約下さい。

中央公論事業出版
東京都千代田区神田神保町1-10-1
電話03-5244-5723
FAX03-5244-5725 (〒101-0051)
http://www.chukokji.co.jp
E-mail:mail@chukokji.co.jp

L549

新・地政学

「第三次世界大戦」を読み解く

世界史的知的教養 ×

外交現場のリアル

これが、世界を見る
カギだ！
〈歴史分析〉
〈地政学〉〈宗教〉

テロ、I.S、難民、米露、イラン、日中韓関係……
「歴史学の泰斗」と「インテリジェンスの第一人者」が示す「羅針盤」



佐藤 優十
山内昌之

定価3000円税別

中央公論新社
http://www.chukou.co.jp/

で行われます。ハーバードのインテリたちは、無学なジャクソンがどんなスピーチをするか手ぐすね引いて待っていたのですが、ジャクソンは悠々と、知っている限りのラテン語の単語を並べた。「買ひ主危険負担の原則、犯罪を構成する証拠物、過去にさかのぼって、怒りの日……」といった塩梅です。(笑)

佐藤 田中角栄が、日中国交正常化のときに作った漢詩のような(国交途絶して幾星霜、修好再開して秋將に到らんとす。隣人眼温くして吾人迎ふ、北京空晴れて秋氣深し)。

山内 どうも韻や平仄も合っていないようです。しかし、東大は「今太閤」の角さんに名誉博士を与える度胸やユーモアはない。やはりハーバードの方がしたたかなのです(笑)。知性の牙城ハーバードのインテリたちの鼻をあかしたジャクソンは、ま

すます大衆の人気を得たわけです。佐藤 ジャクソンのあり方は、トランプに似ています。

山内 アメリカはかつて、学歴も家柄も恵まれなかったにもかかわらず、政治外交から避雷針の発明まで、あらゆる分野においてユニバーサル・マン的な才能を発揮したベンジャミン・フランクリンを産んだ国です。

「独立独歩」「自主自尊」こそアメリカ精神の象徴だったのです。

そのアメリカが、アレクシス・ドクビル言うところのヨーロッパの貴族社会的なエリート優位の国家に変わっているのではないか、それを市民たちが肌で感じて怒っている。そういう風潮に「反知性主義」という形で乗っかってきているのがトランプという事なのでしょうね。

佐藤 日本にとって他人事ではありません。大阪での橋下人気にも似た

要素があります。東京都知事は二人続いてスキャンダルに見舞われ、橋下さんが次の東京都知事選挙に立候補したら当選する可能性は十分あると思います。そうなったら、次は総理大臣の芽も見えてくる。

山内 確かに、東京都民は橋下さんが大阪臭さを消せば投票するかもしれない。

佐藤 前の都知事選で都民は、田母神俊雄候補に六一万票入れました。

山内 それはそうです。

佐藤 トランプ現象と橋下現象、さらにサルコジ現象は、パラレルな関係だという気がしています。サルコジが大統領になったのは二〇〇七年、橋下さんが大阪府知事になったのは翌年、そして今のトランプ現象。これは世界的潮流かもしれません。

撮影◎和田直樹

中央公論

7
2016
JULY
130
周年

「嫌老社会」の一つ先に
「多死」の時代が訪れる
五木寛之・Hiroyuki Itsuki



特集

シルバー 民主主義に 耐えられるか

Japan's
Silver
Democracy

世代間対立は民主主義の宿命である ○猪木武徳
若者が投票に行かないこれだけのワケ ○佐藤 信×原田謙介
高齢者に甘い政治のツケは高齢者が払う ○八代尚宏

特集●「朝ドラ」ブームを読み解く

他のドラマにはない家族のような一体感がある ○近藤正臣
ヒロインを演じて ○波瑠 「あさが来た」脚本家・大森美香インタビュー

七冠を背負う重圧と解放感 ○井山裕太×羽生善治